

現在の数式のサイズは 3 です。

サイズを選択 ▾

変更

カスタム検索

サイト内検索



ツイート

Like 0

[このページ](#)

KIT 数学ナビゲーション

KIT Mathematics Navigation

[ホーム](#)
[カテゴリ分類](#)
[解法のヒント](#)
[公式集](#)
[索引](#)
[数I](#)
[数A](#)
[数II](#)
[数B](#)
[数III](#)
[数C](#)
[入試問題](#)
[三角関数](#)
[微分](#)
[積分](#)
[複素数](#)
[関数](#)
[幾何](#)
[ベクトル](#)
[確率](#)
[数列](#)
[行列](#)
[指数/対数](#)
[数と式](#)
[その他](#)

数学知識構造の全体を見るには[このグラフ図](#)を、関連するページを見るには[このグラフ図](#)を利用してください。

応用分野: [2直線のなす角](#),

## 2直線が垂直に交わる条件

2つの直線の傾きを  $m_1$  ,  $m_2$  とすると、垂直に交わる (直交する) ための条件は、

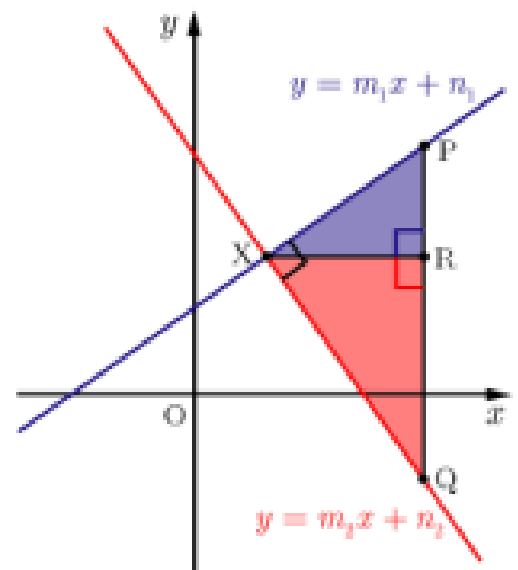
$$m_1 m_2 = -1$$

である。

参考ページ: [2直線のなす角](#)

### ■証明

$m_1 > 0, m_2 < 0$  とする。2つの直線の交点をX, 交点Xの右側にy軸に平行な直線を引き、傾きが  $m_1$  の直線との交点をP, 傾きが  $m_2$  の直線との交点をQとする。交点Xを通り、x軸に平行な直線を引き、直線PQとの交点をRとする。以上のように、点X, P, Q, Rをとると△XRP, △XRQは直角三角形になる。



直線の傾きの定義より

$$\frac{PR}{XR} = m_1 \quad \dots\dots(1)$$

$$\frac{QR}{XR} = -m_2 \quad \dots\dots(2)$$

△XRPが直角三角形より、[三平方の定理](#)が成り立つので、

$$\begin{aligned} XP^2 &= XR^2 + PR^2 \\ &= XR^2 + (XR \cdot m_1)^2 \quad (\because (1)) \end{aligned}$$

$$= XR^2(1 + m_1^2) \quad \dots\dots(3)$$

△XRQが直角三角形より、[三平方の定理](#)が成り立つので、

$$\begin{aligned} XQ^2 &= XR^2 + QR^2 \\ &= XR^2 + (-XR \cdot m_2)^2 \quad (\because (2)) \end{aligned}$$

$$= XR^2(1 + m_2^2) \quad \dots\dots(4)$$

2つの直線が垂直に交わると、 $\angle PXQ = 90^\circ$ となり△PXQは直角三角形になる。よって、[三平方の定理](#)より、

$$PQ^2 = XP^2 + XQ^2$$

$$(PR + QR)^2 = XR^2(1 + m_1^2) + XR^2(1 + m_2^2) \quad (\because (3), (4))$$

$$(XR \cdot m_1 - XR \cdot m_2)^2 = XR^2(1 + m_1^2) + XR^2(1 + m_2^2) \quad (\because (1), (2))$$

$$XR^2(m_1 - m_2)^2 = XR^2(1 + m_1^2) + XR^2(1 + m_2^2)$$

$$(m_1 - m_2)^2 = (1 + m_1^2) + (1 + m_2^2)$$

$$m_1^2 - 2m_1m_2 + m_2^2 = 2 + m_1^2 + m_2^2$$

$$-2m_1m_2 = 2$$

$$m_1m_2 = -1$$

2直線が垂直に交わると、 $m_1m_2 = -1$  である。

一方、 $m_1m_2 = -1$  ならば、

$$PQ^2 - (XP^2 + XQ^2)$$

$$= (PR + QR)^2 - XP^2 - XQ^2$$

$$= (XR \cdot m_1 - XR \cdot m_2)^2 - XR^2(1 + m_1^2) - XR^2(1 + m_2^2) \quad (\because (1), (2), (3), (4))$$

$$= XR^2(m_1 - m_2)^2 - XR^2(1 + m_1^2) - XR^2(1 + m_2^2)$$

$$= (m_1 - m_2)^2 - (1 + m_1^2) - (1 + m_2^2)$$

$$= m_1^2 - 2m_1m_2 + m_2^2 - 1 - m_1^2 - 1 - m_2^2$$

$$= -2m_1m_2 - 2$$

$$= 0$$

よって、

$$PQ^2 = XP^2 + XQ^2$$

となり、 $\triangle PXQ$ において三平方の定理がなりたち、 $\triangle PXQ$ は直角三角形である。よって、

$$\angle PXQ = 90^\circ$$

すなわち、2直線は垂直に交わる。

以上より、証明された。

[ホーム](#)>>[カテゴリー別分類](#)>>[幾何](#)>>2直線が垂直に交わる条件

最終更新日 2016年3月3日

[\[ページトップ\]](#)

[google translate \(English version\)](#)